

第33回 緑の市民懇話会 会議録（要旨）

1 日 時 平成26年 8月 8日（金） 10:00～11:30

2 場 所 市役所403・404会議室

3 出席者

（委員） 久座長、下村委員、磯貝委員、稲葉委員、大鋸委員、倉品委員、児玉委員、日高委員、山田委員、岩井委員、北島委員

（事務局） 中井みどり景観課長、巽みどり景観課緑化推進係長、松田みどり景観課主査、大澤みどり景観課

石田公園管理課課長補佐、浜田公園管理課副係長、福山公園管理課

（欠席者） 1名

4 議事内容

1 開 会

2 案 件

- （1）コミュニティパーク事業の箇所選定について
- （2）「花と緑の景観まちづくりコンテスト」について
- （3）その他

5 議事録

- （1）コミュニティパーク事業の箇所選定について

[事務局説明]

別紙「資料1」コミュニティパーク事業応募状況について説明。（公園管理課）

萩の台住宅地自治会から「萩の台第2公園」と真弓1丁目自治会から「真弓1丁目公園」の2箇所の応募があった。

今年事業ができるのは1箇所のみ。本懇話会でご意見を聞き、最終的には行政が選ぶ。

「萩の台第2公園」の概況説明。

- ・萩の台住宅地の中心にあり、萩の台駅の東に位置している。公園の先は緑道となっており、その先は矢田丘陵遊歩道とつながっている。
- ・公園内は遊歩道で4分割されていて、まとまりがない。
- ・外周は生垣（プリペット）が1m以上の高さがあり、外からの見通しはきかない状況である。
- ・砂場は固くしまっており、子どもは遊びにくい状況である。
- ・樹木については、周囲が道路に囲まれていることもあり、自然樹形に近い。また、日当たり

も良いため大きく育っている。しかし、根がカラーアスファルト舗装を押し上げてしまい、通常の黒のアスファルト舗装で補修しているためつぎはぎの状態である。

・老朽化した遊具は4基撤去し、現在は砂場とすべり台のみ。すべり台は利用しているが、砂場は固く締まっており子どもは遊ばない状況である。

・階段には手すりはない。

・公園の維持管理は、高木、寄せ植えの剪定及び年1回の草刈りを市で行っている。

「真弓1丁目公園」の概況説明。

・運動広場と遊具のある広場の間に段差（階段あり）があって、公園が2分割されポプラでさえぎっている。また、階段には平成20年に手すりを設置。

・老朽化した遊具は7基撤去し、現在はすべり台、ブランコ、鉄棒、ムービング遊具、砂場の5基である。

・樹木については樹種が少ない。住宅地の中にあるので、落ち葉の問題はどことも同じようにある。

・公園外周の生垣は歯抜けになっているところもある。ボール遊びをしていたら、すり抜けて道路に出てしまう危険性もある。フェンスもあるが老朽化している。

・公園の維持管理は、高木や寄せ植えは市が剪定するが、草刈り・清掃は自治会が行っている。

[委員意見等]

・萩の台住宅地自治会が公園の維持管理をしていない理由は。（発言）

⇒高齢化で草刈等ができなくなったと聞いている。

・萩の台住宅地自治会では、今まで公園は市が管理するものであり、住民は手出し無用という意識があった。応募されたということは、これからは「できる」と思うようになったということ。このきっかけが大切だと思う。今までやっている自治会は引き続きやっていけると思う。だからこそ今回の事業を機会に新しい取組をしていただきたい。（発言）

・公園の問題点として、周囲からの見通しの確保と遊具を増やしてほしいというのがあるが、遊具があるのが良いとは一概には言えない。実際遊具を使う年代の子どもはどれくらいいるのか。（発言）

⇒

	0～9歳	10代	人数では
萩の台	5%	6.6%	200人ほど
真弓1丁目	10%	7.4%	140人ほど

・萩の台第2公園の方が樹木の問題等、早急に解決する必要がある。だからこそ本事業で市と住民と連携して動くのではなく、市が単独でやれば良いのではないかとも思う。真弓1丁目自治会は文章がまとまっており、熱意を感じる。（発言）

・真弓1丁目公園のポプラについて、倒木の危険性はないか。（発言）

⇒2年に1回の剪定時に、チェックしている。

・今回の事業で段差のある広場を一体化するような造成工事をすることは可能か。（発言）

⇒今の地形を変更するとなると、それだけで事業費を費やしてしまうことになる。段差のある

ところにスロープを設けるなど、現在ある法面をどう利用するか等をワークショップで考えていきたい。

・文面だけでは分かりにくいので、自治会の代表の方の生の声を聴く機会を設けてほしい（ブレゼンなど）。また応募の資料など前もって配布してもらい、本懇話会までに情報が欲しい。

（発言）

⇒今後の課題として改善していく。

・前回のあすか野のコミュニティパーク事業のその後として、緑道の「桜を守る会」などの新しいコミュニティがつくられ、地域の活性化が図られており、現在も継続している。萩の台住宅地自治会は手段については分かっていないかもしれないが、何かやらなきゃいけないという気持ちは大事にし、バックアップしてあげたいと思う。（発言）

・萩の台第2公園から延びる緑道の住民の利用はあるのか？（発言）

⇒通勤の方が駅までの道として通られている。

・萩の台第2公園を整備することで自治会だけでなく、矢田丘陵遊歩道を利用する市民にも恩恵を受けることができる。真弓1丁目公園は近隣の住民の利用のみかと思う。（発言）

・萩の台住宅地自治会は今までコミュニティが良いとは言えなかった。昨年、会長が変わってかつての行事が復活するなど自治会の雰囲気も変わった。子ども会や自治会が連携して本事業をすることで大きな意味がある。（発言）

・今年度の事業ができるのは1箇所のみなのか。2箇所ともすることは無理なのか。どちらかに決めるとなると、落選した方は来年度の事業のシード権を得るなど、今後のケアが必要だと思う。（発言）

⇒事業は1箇所のみ。対策については考える。

・お手元の紙にどちらの自治会が良いか1つ書いていただきたい。（事務局）

（投票）

（開票）

⇒開票の結果、多数決で萩の台住宅地自治会をこの会としては推すとさせていただく。

・懇話会の要望として、来年度のコミュニティパーク事業は2件にさせていただきたい。

（2）「花と緑の景観まちづくりコンテスト」について

【事務局説明】

・コンテストの第1回現地審査について説明。

5月に第1回現地審査を行ったことを踏まえて、8月26日に第2回現地審査を行う。

【委員意見等】

・他の賞でもよくあるように、3回最優秀賞を受賞したら、殿堂入りといった話はどうなったのか。（発言）

⇒結論には至っていないので、次回以降の懇話会でご意見いただく。

(3) その他

[事務局説明]

- ・市民の森事業と総合公園北側山林利用促進施策の進捗状況について
- ・次回の懇話会の日程について
　　＜次回の日程について、翌年2月初旬を予定＞